

2019

インシュアランス
ファクトブック



米 国 保 険
情 報 協 会

SOMPO未来研究所株式会社 / 訳

読者の皆様へ

保険がない世界を想像してみてください。

前の文を読む際に、「それがどうしたのですか?」とか「それはいいね!」と言う人もいるかもしれません。保険に加入していたとしても保険金を受け取るような事故や災害にあわないことが一番良いことだと考えれば、こう答える人がいることは理解できます。

また、すでに保険について理解や評価している人たちは、保険は若くして亡くなったり、けがをしたり、モノの損害があったり、稼ぐ力がなくなったり、法的責任を負ったり、その他の不足の出費があったりしたときの金銭的補償をしているというかも知れません。

それらはすべて真実です。私たちは、金銭的補償を担う「ファーストレスポnder」ですが、それ以上に多くの役割があります。

保険は経済成長を促進します。保険はリスクに対する安定を提供します。保険は回復力を促進します。近年の災害は、復興において保険が果たす重要な役割を実証しており、保険がなければ個人、企業および地域社会への影響は回復不能なものとなるかもしれません。保険会社として我々が現に補償している契約でさえ、身の回りのリスクに対して十分な補償を提供できていないことを承知しています。我々はそのギャップを埋めたいと願っています。

この願いは、今年の「米国保険情報協会 インシュアランスファクトブック」の変更点に反映されています。沿岸高潮リスクと雹、再保険、マリファナ、飲酒運転の増加に関する新たな情報を追加しました。訴訟問題の項を改訂し、州別の不法行為制度の費用と賠償金、フロリダ州で増大しつつある保険金請求権譲渡訴訟などを盛り込みました。

今回も従前どおり、以下の項目について価値ある情報をお届けいたします：

- ・世界および米国の異常災害
- ・損害保険および生命保険の業績と投資動向
- ・自動車保険および住宅所有者保険に対する個人支出
- ・自動車事故、住宅所有者保険に関わる事故、犯罪被害、就業中の事故などの主要種目の損害状況
- ・各州の自動車保険法

インシュアランスファクトブックは、米国保険情報協会のウェブサイト (www.iii.org) とあわせて使用されることを企図しています。このウェブサイトには、消費者、研究者、公共政策立案者、企業などの情報が掲載されています。米国保険情報協会の広報担当者、インシュアランスファクトブック、ビデオその他信頼性のあるタイムリーな情報はメディアから信頼され重要な情報源であり続けています。SNSは米国保険情報協会と交流を続ける更なる手段です。我々の [Facebook](#) ページにて、また [Twitter](#) (@[iiorg](#) and @[III_Research](#)) でのフォローや、[LinkedIn](#) での連絡をお待ちしております。

業界統計収集にご尽力いただき、データ使用を快く承諾していただいた団体やコンサルタントをはじめとした皆様に感謝いたします。

保険のない世界? 私はそのような世界を望みません。



米国保険情報協会会長
Sean Kevelighan

米国保険情報協会発行の「2019インシュアランスファクトブック」は、保険関連の問題に関する主要な情報発信、分析および照会のための機関である米国保険情報協会が刊行している。「ファクトブック」は、数多くの情報源から集められたデータを含んでいる。こうした情報源は、様々な方法でデータを定義し収集しており、さらにそのデータの洗い替えを常に行っているため、同種のデータ間での相違が生じ得る。

©2019 米国保険情報協会 ISBN 978-0-932387-81-3

保険業界の概観	V
第1章 世界の保険市場	
保険料	1
再保険	10
主要グループ	12
国際販売	14
キャプティブおよびその他のリスクファイナンス手法	15
マイクロインシュアランスおよび新興国市場	17
第2章 米国保険業界、全部門	
保険料	20
主要グループ	22
健康保険	23
雇用およびその他の経済的貢献	24
M & A(合併・買収)	26
州別保険会社数	30
州別保険料税	31
第3章 募集	
損害保険	32
生命保険	34
年金	35
第4章 退職後保障	
概観	36
個人退職口座(IRA)	39
401(k)	40
ミューチュアルファンド	40
年金	41
第5章 生命保険業界の財務データ	
財務成績	44
投資	46
支払金	47
種目別保険料	48
主要グループ	53
第6章 損害保険業界の財務データ	
財務成績	55
投資	62
サープラスライン	64
集中度	65
再保険	66
州別保険料	67
州別発生損害額	68
支払保証基金	69

第7章 米国損害保険の種目別状況

種目別保険料.....	71
自動車保険:保険料.....	78
自動車保険:コスト/支出額.....	81
自動車保険:支払保険金.....	86
自動車保険:高リスク市場.....	87
自動車保険:法律.....	91
住宅所有者保険:保険料.....	105
住宅所有者保険:高リスク市場.....	106
住宅所有者保険:コスト/支出額.....	112
住宅所有者保険:支払保険金.....	115
洪水保険.....	120
地震保険.....	125
企業種目.....	127

第8章 損害

大規模異常災害:世界.....	141
大規模異常災害:米国.....	145
ハリケーン、冬の嵐、洪水、竜巻、地震、原野火災、雹、テロ、原子力事故.....	148
火災.....	170
犯罪:放火.....	175
犯罪:財産.....	176
犯罪:サイバー盗難と個人情報盗難.....	177
自動車:事故.....	185
自動車:盗難.....	196
レクリエーション.....	198
航空機.....	202
就業中の損害.....	205
家庭内事故.....	208
死因.....	209

第9章 コストに影響を及ぼす要因

財とサービスの費用.....	212
詐欺.....	216
訴訟問題.....	218

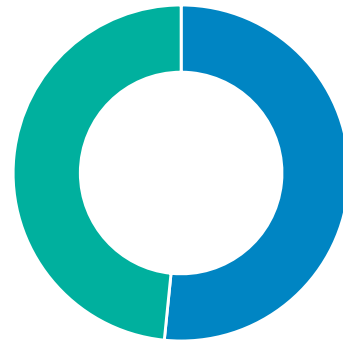
付録

米国保険情報協会の刊行物等.....	226
米国保険情報協会加盟会社.....	227

保険業界の概観

- S&P Global Market Intelligence によると、2017 年における米国保険業界の正味収入保険料は 1.2 兆ドル、内訳は生命保険会社が 52%、損害保険会社が 48% であった。
- 損害保険は、主に自動車保険、住宅所有者保険、企業保険などで構成される。同部門の正味収入保険料は、2017 年には 5,582 億ドルとなった。
- 生命保険部門は、年金と生命保険などで構成される。同部門の正味収入保険料は、2017 年には 5,949 億ドルとなった。
- 健康保険は通常独立した種目として認識されている。健康保険部門には、民間の健康保険会社や政府プログラムが含まれる。また、損害保険会社や生命保険会社も健康保険を引き受けている。
- 2016 年における属領を含む米国の保険会社数は 5,977 社であった。全米保険庁長官会議によれば、内訳は、損害保険会社 2,509 社、生命保険・年金会社 852 社、健康保険会社 907 社、共済保険組合 82 社、タイトル保険会社 58 社、リスク保有グループ 240 社、その他 1,306 社であった。
- 米国経済分析局によれば、2017 年、保険会社および関連事業は 6,027 億ドルと、米国の国内総生産 (GDP) の 3.1% を占めた。
- 米国労働省によれば、2016 年における米国保険業界の雇用は 270 万人であった。このうち 150 万人は保険会社勤務であり、内訳は生命・健康保険会社 84 万 7,600 人、損害保険会社 64 万 6,400 人、再保険会社 2 万 5,900 人となっている。残りの 110 万人の勤務先は、保険代理店、ブローカーおよびその他の保険関連企業であった。
- S&P Global Market Intelligence 社によれば、2017 年における損害保険会社の現金・運用資産は、1 兆 6,900 億ドルであった。また、生命保険会社の現金・運用資産は 4 兆 700 億ドルであった。損害保険会社・生命保険会社を合わせた現金・運用資産の合計は 5 兆 7,700 億ドルであり、これら資産の大半は債券であった (損害保険会社資産の 58%、生命保険会社資産の 73%)。
- 米国商務省によれば、2017 年、損害保険会社および生命保険会社は保険料税 210 億ドルを支払った。これは米国居住者 1 人当たり 64 ドルに相当する。
- Verisk Analytics 社のプロパティ・クレーム・サービス部門によれば、2017 年、損害保険会社は異常災害による財物損害として 1,019 億ドルを契約者に支払っている。これは同社が 1949 年に保険金支払データの収集を開始して以来、最大の金額である。2017 年の損害額は 1,019 億ドルで、217 億ドルから 370% も増加した。異常災害の件数は、2017 年は 46 件、2016 年は 42 件であった。

**米国損害保険、生命保険の保険料：
2017 年**
(単位：十億ドル)



■ 生命保険	51.6%	594.9
■ 損害保険	48.4%	558.2
合計	100.0%	1,153.1

出典：S & P Global Market Intelligence社を情報源とする全米保険庁長官会議 (NAIC) データ、米国保険情報協会

保険業界における雇用：2008年～2017年（年平均、単位：千人）

年	保険会社				保険代理店・ブローカー および関連サービス			保険 業界全体
	元受保険会社 ¹		再保険	合計	保険代理店・ ブローカー	その他 保険関連 ³	合計	
	生命・ 健康保険 ²	損害保険						
2008	800.8	646.7	27.9	1,475.4	671.6	258.1	929.6	2,405.1
2009	802.8	632.9	27.5	1,463.2	653.3	254.2	907.4	2,370.6
2010	804.1	614.3	26.8	1,445.2	642.3	253.1	895.5	2,340.6
2011	788.9	611.6	25.6	1,426.1	649.2	261.1	910.3	2,336.4
2012	811.3	599.5	25.7	1,436.5	659.6	272.3	931.8	2,368.3
2013	813.2	593.7	26.2	1,433.1	672.3	283.5	955.8	2,388.9
2014	829.0	594.7	25.1	1,448.8	720.0	297.1	1,017.1	2,465.8
2015	829.8	611.6	25.1	1,466.5	762.8	309.1	1,071.8	2,538.3
2016	818.9	643.5	25.3	1,487.7	783.5	321.5	1,105.0	2,592.7
2017	847.6	646.4	25.9	1,519.9	804.9	330.9	1,135.7	2,655.7

¹ 主として保険の元受を行う企業。

² 年金、生命保険、医療健康保険の引き受けに従事する企業を含む。

³ クレーム・アジャスター、保険基金の第三者管理機関、アドバイザーおよび保険料率算定サービス等の関連サービス従事者。

出典：米国労働省労働統計局